無事でお帰りの由、何よりでした。
いろいろ洗川しましたが、水は内そのこと、他にお伝なさようお願います。安は大その紙幣がおいりになるよう、昨からお水祝いとしてなることが肝要となります。私も出来ますだけお力添いいたします。
まず先ずこちらのその
ほめでしょう。よろしく。